

講座の目的

評価問題の作成を通して作問力の向上を図るとともに、中高の交流を深めながら検討を重ねることにより、今、求められる評価と評価問題の在り方について考察を深め、授業の改善を図る。

対象と定員

12名
(中・高12名・特支)

期 日

平成30年8月7日(火)～8日(水)

研 修 内 容

○適切な評価と評価問題の在り方について
○説明的文章の指導と評価問題の作成
○説明的文章教材の指導について 等

担当者からのメッセージ

作問を通して授業改善へのヒントをつかみましょう

同じ素材で、中学校、高等学校、特別支援学校の校種の垣根を越え、議論に議論を重ね、問題を作り上げていく。その過程で得られる素材に対する読みの深化、言葉一つに鋭敏になっていく感覚は、きっと自分が変わったという実感に伴うはずです。

以前からこう教えていたから、指導書にこう書いてあったから…、そんな自分を脱して、素材に真正面から向き合う自分を取り戻しませんか。

作問の基礎から学びますので、作問に自信がない先生でも大丈夫です。

平成29年度受講者の感想

中学校A先生: 久しぶりに一つの作品を多くの視点から考えることができて楽しかったです。

高校B先生: 作問をする際の観点について再確認できた。これまであいまいにしていた点も多かったので、今回学んだことを活用していきたい。

高校C先生: 他校種の先生方とも交流でき、様々な視点を得ることができて、本当によい勉強の機会となりました。

